## 中國文學報 第六十一

## 『中國文學報』總目錄 (第五十一冊~第六十一册)

1 總 記						文學報
蟬の詩に見る詩の轉變	Щ	合	康	≡	57	第六十
妖道與妖術——小說、歷史與現實中的道教批判	葛		兆	光	57	子
我與漢語方言	李		如	龍	61	册
書評:田仲一成『中國巫系演劇研究』	金		文	京	53	
書評:川合康三著『中國の自傳文學』	吉	川	忠	夫	54	
書評:中里見敬『中國小說の物語論的研究』	金		文	京	56	
紹介:アメリカにおける中國古典詩の研究―― 一九六二年から一九九六年まで――第一部 (上)(下)	ウィニィ	ィリアイハウ	゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙	H· · Jr	55,56	
紹介:アメリカにおける中國古典詩の研究—— 一九六二年から一九九六年まで——第二部 (上)(中)(下)	ウィニィ	ィリテ イハウ	゚゚゙゙ム・ ザー	H· · Jr	59,60,61	
紹介:近十年のフランスにおける中國文學研究 の發展(上)(下)	フラ	ンソワ	'・マル	タン	57,58	
2 先秦・漢代文學						
書評:夏傳才『詩經研究史概要』	大	野	圭	介	52	
劉歆「上山海經表」をめぐって	大	野	圭	介	51	
『史記』における二人稱代名詞の特徴について	今	今 鷹 眞			56	
3 魏晉南北朝文學						
うたげのうた	Щ	合	康	$\equiv$	53	
書評:程章燦『魏晉南北朝賦史』	原	田	直	枝	51	
陸機と「楚」――聲律意識の形成について――	木	津	祐	子	53	
陸雲的"用思困人"及其他	戴			燕	52	
陸雲與兄平原書箋注(二則)	戴			燕	57	
疾走する逸民――郭璞「江賦」の敍法――	佐	竹	保	子	58	
「郭璞」說話の形成	大	平	幸	代	59	
「歸去來兮辭」の「辭」について	釜	谷	武	志	61	
詩的言語としての知覺動詞——陶淵明と謝靈運 の詩から——	堂	薗	淑	子	60	

藤 希 史 61

謝靈運の山居――〈居〉の文學(二)

	何遜詩の風景謝脁詩との比較	堂	薗	淑	子	57
	書評:岡村 繁著『文選の研究』	富	永	_	登	60
1	『文心雕龍』事類篇箚記	幸	福	香	織	52
	庾信の碑傳文	原	田	直	枝	53
ž	5 隋唐文學					
į k	初唐の「序」について	道	坂	昭	廣	54
	唐代詩論の展開における皎然詩式	興	膳		宏	55
	韓愈・孟郊「城南聯句」初探	Л	合	康	三	61
	書評:謝思煒『白居易集綜論』	下	定	雅	弘	58
	贈内詩の流れと元稹	姜		若	冰	59
	青銅鼎與錯金臺——道教語言在中晚唐詩歌中的 使用——	葛		兆	光	52
	書評:桐島薫子著『晩唐詩人考――李商隱・溫 庭筠・杜牧の比較と考察――』	愛	甲	弘	志	59
	紹介:八十年來中國寒山詩集的整理和研究	羅		時	進	60
	6 宋代文學					
	關於〈吟窗雜錄〉及其版本問題(附校記)	張		少	康	51
	蘇軾の觀物	湯	淺	陽	子	52
	蘇軾の歸田と買田	湯	淺	陽	子	54
	蘇軾の詩における佛典受容について――『維摩 經』『楞嚴經』を中心に――	湯	淺	陽	子	59
	朱子語類讀書法篇譯注(四)~(七)		ま宏・ 系希史	木津; <u>!</u>	祐子	51,52, 53,54
	朱子語類論文篇譯注(一)~(七)		まます。 乗希史			5,56,57, 59,60,61
	7 金元代文學					
	『孝經直解』の出版とその時代	宮		紀	子	56
	鄭鎭孫と『直說通略』(上)(下)	宮		紀	子	58,59
	元雜劇の祭祀的演目について	小	松	Ž	謙	58
	8 明代文學					
	李夢陽詩論	松	木	ţ	昴	51
	歸有光の文學	田		_	郎	55
	『五代史平話』のゆくえ	氏	岡	眞	士	56

『殘唐五代演義』への道――小說と講史――	氏	岡	眞	士	52	
9 清代文學						中
清詩話佚書考	蔣			寅	55	中國文學報
羅振玉・王國維と明治日本學界との出會い―― 『農學報』・東文學社時代をめぐって	錢			鷗	55	
						第六十
10 現代文學						
目の文學革命・耳の文學革命――一九二〇年代 中國における聽覺メディアと「國語」の實驗	平	田	昌	司	58	
話劇史における飜譯劇とその上演———九三〇 年までの場合——	夏			嵐	51	
廚川白村與中國現代作家	梁	敏		兒	53	
廚川白村與中國現代文學裏的神秘主義	梁		敏	兒	56	
書評:田本相主編『中國現代比較戲劇史』	夏			嵐	52	
論廢名小說《橋》的詩化特徵	吳		曉	東	54	
「洋場」の「洋人」――張愛玲小説の外國人 ――	濱	田	麻	矢	54	
中國話劇史上の翻譯劇とその上演——戰時中及 びその後の場合——	夏			嵐	60	
『殺夫』論	津	守		陽	59	